

フルモールド鋳造法をインドへ 鋳物製造業の専門人材育成と高品質鋳物製品で産業を支える — 株式会社木村鋳造所(静岡県駿東郡)—

国際協力機構（JICA）は、株式会社木村鋳造所（静岡県駿東郡清水町、木村寿利 代表取締役）との間で、「鋳物製造技術者の育成にかかる普及・実証・ビジネス化事業（インド国）」にかかる業務委託契約を締結し、第1回目の現地調査を実施しました。今回の訪問では、主に南部カルナタカ州にある職業訓練校やビジネスパートナー候補企業との面談と市場調査を行いました。

インドでは、鋳物製造業における実践的な職業訓練施設は不十分で、既存教育機関で実施される教育内容も十分でないため、高度な実践的技術・経営ノウハウを持った人材が不足しています。結果、高品質な鋳物製品の国内供給ができない状況が続いています。

本普及・実証・ビジネス化事業では、（株）木村鋳造所が1966年に導入し、築いてきたフルモールド鋳造法（発泡スチロールを用いた消失模型鋳造法）による高品質な鋳物製品の製造技術と、産業発展に貢献する品質管理方法を含む環境配慮型日本式ものづくり教育が、現地職業訓練校における実践的訓練として取組まれます。育成された人材は広くインド国内の鋳物製造業界に採用され、継続的に活躍することが期待されます。

今回渡航した（株）木村鋳造所 溝口海外営業課長は、コロナ禍で渡航が困難な期間はオンライン会議を通じて現地の状況把握に努めていたものの、直接面談することで一層の意思の疎通が図れ、現地の最新状況も把握できたと、渡航の成果を述べています。同社は、継続的な発展が期待され、日本企業の進出が着実に進むインドで、拠点設立と、若手人材の育成にもつながる取組を推進していきます。



① 現地鋳物工場の製造現場の様子



② 職業訓練校での授業の様子

「中小企業・SDGs ビジネス支援事業 普及・実証・ビジネス化事業（中小企業支援型）」は、企業等からの提案に基づき、開発途上国の課題解決に貢献し得るビジネスの事業化に向けて、技術・製品・ノウハウ等の実証活動を含むビジネスモデルの検証、提案製品等への理解の促進、ODA 事業での活用可能性の検討等を通じた事業計画案の策定を支援しています。

【関連リンク】

「中小企業・SDGs ビジネス支援事業」概要 https://www.jica.go.jp/priv_partner/activities/index.html

<p>【本件に関する問い合わせ先】</p>	<p>日本の真ん中から世界へ JICA 中部</p>  <p>https://www.jica.go.jp/chubu/index.html</p>
<p>JICA 中部企業連携課 担当：佐藤（案件担当） TEL:052-533-1387 FAX:052-564-3751 E-mail: Sato.Yasushi@jica.go.jp</p>	